

封戸保育園 だより

2020 **1** 月
(令和2年)

No. 585

【編集・発行】
封戸保育園
0978-22-3677



◆あけましておめでとうございます。2020年が始まりました。
◆1月5日に県内では最初の成人式が豊後高田市で行われました。参加者は202人中100名強でした。豊後高田市の未来を担っていく若者たちに心の中でエールを送りました。
◆成人式は子どもたちの「けじめ」でもあり、親の「けじめ」でもあるように思います。
◆無事成人式を終えるまで育てることができた喜び。これからは子ども本人が社会的にも責任を持たなければいけないと思う不安に揺れ動きながら、親はいい距離感を身につけなければいけま

せん。
◆成人式に関連して、ある記事が目に残りました。『不思議なことに大変だった記憶は消えて、温かく幸せな思い出だけが残った』(母)と書かれていました。
◆「永遠に続かのように思えた子どものイヤイヤ期」「なんでなんでと目につくものに言っていた時期」「自分でする一が口癖のように言っていた時期」
◆振り返れば、成長しているとはわかっていても大変でした。けれど親子で乗り越えた時期だったんだなと感じます。
◆子どもが居てくれるからこそ、親になることができたのです。
◆今年も子どもたちと笑顔で過ごす1年間でありたいと願っています。どうぞよろしく願い致します。

保育園の畑に、ご近所の久保さんがいろいろな野菜を植えてくれます。白菜が2つ、キャベツが2つ、レタスが2つとか少しずつですがいろいろな野菜ができていて、子どもたちはサンドイッチにしたり、手巻にしてみたり、白菜のスープに入れてもらったりとそれはそれは楽しく畑の野菜を味わっています。

畑の野菜を見る時に、野菜に虫がついているのも目に入ります。あおむしは部屋に持ち帰って飼ってみます。無事に蛹になったり、蛾の幼虫は繭になったりしますが、ある日衝撃的な場面がありました。

なんと、あおむしの中から小さな小さなあおむしがガシャガシャガシャ出てきたのです。大人も含めて初めてみた光景でした。図鑑にも載っていません。大分昆虫同好会会長の三宅 武氏と元文理大学教授の伊藤 研先生に画像を送って教えていただきました。あおむしに寄生するコマユバチの仲間の「アオムシサムライコマユバチ」か「モンシロサムライコマユバチ」ではということでした。コマユバチがあおむしに卵を産み、その幼虫があおむしの体を食べて、繭になりコマユバチが羽化します。そのコマユバチが羽化したところまで子どもたちと観察しました。

この小さな昆虫の生の営みの一部を子どもたちと目にしたのですが、小さな昆虫も植物もこうして一生懸命にいのちを繋いでいるのだということを実感させられたひとコマでした。



昔と違って“寒い冬”の期間が少なくなったようです。地球温暖化と言われる状況の中で、地球全体の温度が上がってきているからでしょう。あまり関係ないと思われる方も多いと思うのですが、近年の異常気象、河川の氾濫、土砂災害の多発は、気温が上昇していくにつれてさらに深刻化していくと懸念されています。

一人ひとりが温暖化防止のために省エネに向けた小さな工夫も必要とされているようです。

では、どんなことをしたらよいのでしょうか。室内の冷やしすぎ、暖めすぎ、つけっぱなし、そして電化製品買い替えの際は省エネ製品を！など身近にできることもいろいろありそうです。



おたんじょうび おめでとう!

6名のお友だちが
誕生日を迎えます。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1月行事予定	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水		
							避難訓練									誕生会		成人の日				カルタ大会									元旦	